

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	キリスト教社会倫理		教員氏名	坂井 悠佳	
学年	専攻科		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	中学校高等学校教員、大学研究員	10年
テーマ	キリスト教を土台とした社会倫理を学ぶ。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	キリスト教信仰に基づく社会倫理とは何かを講義する。特に介護福祉専攻の学生の専門性を高めるために、現代思想に通底するキリスト教信仰を理解し、キリスト教倫理と社会福祉の精神とのつながりを学び、深める。この授業では、キリスト教信仰から導き出される社会倫理とは何かを学ぶことで、倫理的思考力を養う。同時に、具体的状況において、キリスト教倫理が何を提示するのかを主体的に考える態度を身に付け、福祉の担い手としての自己形成に資する。併せて、グループディスカッションやディベート等のグループワークを通して、倫理的主体として自ら考え、他者と共に生き、行動する姿勢を育む。研究員としての研究活動を活かして学術的水準を保った講義を提供し、中学校高等学校教員の経験を踏まえて主体的な学習の助けとなる方法を用いた授業を行なう。				
授業の到達目標	キリスト教に基づく社会倫理の基本的な考え方を説明できる。				
	キリスト教社会倫理の考え方を基本として、具体的な状況における倫理的判断ができる。				
	自らの意見を表現し、他者と分かち合い、討議し、よりよい方向へと到達する道筋を探ることができる。				
テキスト	『聖書』(旧約聖書と新約聖書の双方が収録されたもの。日本聖書協会刊行の新共同訳聖書の用語により講義する)。その他に講義資料を配付する。				
参考書	適宜紹介する。				
ポートフォリオ	授業時に配付された資料、作成した課題やレポートをファイリングして活用する。				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める。				
	ICTを活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する。				
その他： 小レポートをリアクションペーパーに準じた扱いとして対話や授業で活用する。					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない。		
	授業内課題参加度出席態度等	80	授業時に適宜提出する小レポート(50%)、授業中のグループワーク等の学習活動(10%)、講義に関連する学期末レポート(20%)		
	その他	20	教会出席(状況によってはオンラインも可)レポート、チャペルアワーレポート		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	キリスト教信仰に基づく社会倫理とは何か、十戒	
	授業外学習	授業後:小レポートを作成する(小レポートについては第1回授業時に説明する)。	210分
第2回	テーマ 内容	人間、人格	
	授業外指示	授業前:人間、人格に関する聖書の記述を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第3回	テーマ 内容	愛 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第4回	テーマ 内容	正義 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第5回	テーマ 内容	自由 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第6回	テーマ 内容	個人と共同体	
	授業外指示	授業前:指定された聖書箇所を読む。 授業後:小課題に取り組む。	210分
第7回	テーマ 内容	国家、社会	
	授業外指示	授業前:配付資料を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第8回	テーマ 内容	文化	
	授業外指示	授業前:配付資料を読む。 授業後:小レポートを作成する。	210分
第9回	テーマ 内容	家庭 (グループワークを含む)	
	授業外指示	授業前:授業で行なうグループワークのための調査を行なう。 授業後:小レポートを作成する。	210分

第10回	テーマ 内容	職業 (ディスカッションを含む)	
	授業外指示	授業前: 授業で行なうディスカッションのための意見をまとめる。 授業後: 小レポートを作成する。	210分
第11回	テーマ 内容	生命倫理	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 小レポートを作成する。	210分
第12回	テーマ 内容	環境倫理	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 小レポートを作成する。	210分
第13回	テーマ 内容	平和	
	授業外指示	授業前: 指定された聖書箇所、配付資料を読む。 授業後: 学期末レポートを作成する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出課題については、コメントを付して返却する。授業中のグループワーク、ディスカッションで取り上げられた内容も含め、クラス全体で共有すべき事柄を含むものについては、授業内で紹介する、説明を加えるなどの対応をする。